

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公開番号】特開2016-210817(P2016-210817A)

【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2016-184782(P2016-184782)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P D－1 の免疫抑制シグナルを阻害する抗 P D－L 1 抗体を有効成分として含む、癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 2】

抗 P D－L 1 抗体が、P D－1 および P D－L 1 の相互作用を阻害する請求項 1 記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 3】

抗 P D－L 1 抗体が、キメラ抗体、ヒト化抗体または完全ヒト型抗体である請求項 1 または 2 記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 4】

癌が、癌腫、扁平上皮癌、腺癌、肉腫、白血病、神経腫、メラノーマ、リンパ腫および骨髄腫から選択されるいずれかの癌である請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 5】

扁平上皮癌が、子宮頸管、膺、結膜、膺、肺、口腔、皮膚、膀胱、舌、喉頭または食道の癌である請求項 4 記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 6】

腺癌が、前立腺、小腸、子宮内膜、子宮頸管、大腸、肺、膵、食道、直腸、子宮、胃、乳房または卵巣の癌である請求項４記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 ７】

癌が、肺癌、大腸癌、食道癌、卵巣癌、メラノーマまたはリンパ腫である請求項 １～３のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 ８】

肺癌が、肺扁平上皮癌または肺腺癌である請求項 ７記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 ９】

癌が、PD-L1 を発現する癌である請求項 １～８のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １０】

癌患者に対する外科的処置後に投与される請求項 １～９のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １１】

PD-1 の免疫抑制シグナルを阻害することを特徴とする請求項 １～１０のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １２】

さらに、免疫賦活剤と組み合わせて投与されることを特徴とする請求項 １～１１のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １３】

免疫賦活剤が、サイトカインまたは癌抗原である請求項 １２記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １４】

サイトカインが、GM-CSF、M-CSF、G-CSF、インターフェロニン-α、インターフェロニン-β、インターフェロニン-γ、IL-1、IL-2、IL-3 または IL-12 である請求項 １３記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １５】

癌抗原が、MAGE-1 もしくは MAGE-3 由来のHLA-A1 またはHLA-A2 拘束ペプチド、MART-1、gp100、HER2/neu ペプチド、MUC-1 ペプチドおよびNY-ESO-1 から選択される一または二以上の癌抗原である請求項 １３記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １６】

免疫賦活剤が、抗CTLA-4 抗体である請求項 １２記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １７】

さらに、化学療法剤と組み合わせて投与されることを特徴とする請求項 １～１１のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １８】

化学療法剤が、アルキル化剤、ニトロソウレア剤、代謝拮抗剤、抗癌性抗生物質、植物由来アルカロイド、トポイソメラーゼ阻害剤、ホルモン療法剤、ホルモン拮抗剤、アロマターゼ阻害剤、P 糖蛋白阻害剤および白金錯体誘導体から選択される一または二以上の化学療法剤である請求項 １７記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 １９】

さらに、白血球減少症治療薬、血小板減少症治療薬、制吐剤または癌性疼痛治療薬から選択される一または二以上と組み合わせて投与されることを特徴とする請求項 １～１１のいずれか １項に記載の癌治療用の静脈投与用注射剤。

【請求項 ２０】

PD-1 の免疫抑制シグナルを阻害する抗PD-L1 抗体の有効用量を癌患者に投与することからなる癌治療方法。